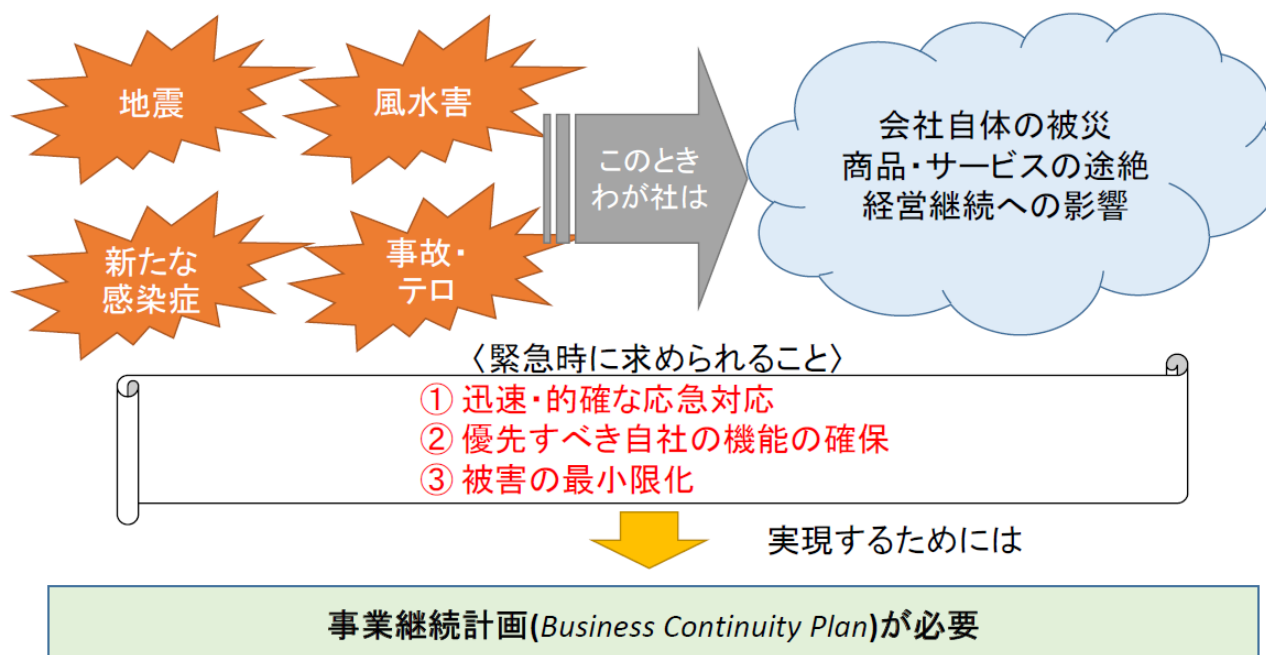


## 事業継続計画 (PR 版)

この度弊社は、事業継続計画 (Business Continuity Plan = BCP) を更新いたしました。

### 事業継続計画 (BCP) とは

社員の生命・身体、財産、社会経済活動などに支障を及ぼす可能性のある事象



弊社の BCP は、緊急事態に対する基本的な事項を定めた「基本計画書」と「事業継続計画書」(地震対策、自然災害、新たな感染症の各編)からなります。

### 基本計画書の内容

#### ○基本方針など

**目的** 「緊急事態においても自社の従業員及び家族の安全を確保しながら自社の事業を適切に継続・運営すること」

**適用範囲** 「弊社の全組織」

**基本方針** 「人命の安全(従業員・顧客)、社会的な供給責任、自社の経営維持、地域等との協調」

#### ○危機管理体制

**危機管理対策本部** 「社長を本部長とする危機管理対策本部の設置」

**危機管理体制** 「分野ごとに担当部署・代行部署を決定」

## ○重要業務

「生鮮食料品の販売を途切れさせない」 卸売市場の卸売業者は、緊急事態時であっても、業務の遂行が求められています

## ○教育・訓練

定期的に教育・訓練、特に「情報連絡訓練」の実施

## ○不断の見直し

計画の実効性維持のために不断の見直しを行う

## 事業継続基本計画書(地震対策)

### ○被害想定

震度6強程度の地震

想定される被害状況は、従業員の負傷・出社不能、建物の一部損壊・液状化による建物被害など



### ○震災直後の初動体制

危機管理対策本部の設置(本社会議室)

初動対応 安否確認、被害状況の確認、二次災害の防止措置、被害情報の収集(都からの連絡、テレビなど)、対外的な情報発信(顧客・取引先)

### ○事業継続対応

BCPを発動後、復旧レベルは、通常の70%程度の商品供給量とする

### ○具体的な事業家継続計画

経営資源ごとにチェック(人的資源、物的資源、情報、資金など)

特に、生産者、出荷者、購買者といった「お客様」の被災状況や弊社に対するニーズの把握を重視

## 事業継続基本計画書(水害対策)

### ○被害想定

想定される災害は、警戒レベル4(避難勧告・避難指示(緊急))以上の避難情報発出  
想定される被害状況は、想定被害は、地震と同様  
ただし、復旧レベルは100%の商品供給とする  
その他の対応等は、地震編と概ね同様

## 事業継続基本計画書(新たな感染症対策)

### ○被害想定

想定する被害は、新型感染症の発生(緊急事態宣言等)  
想定する被害状況は、発生段階に応じて、国、自治体からの情報に基づく  
現在の新型コロナウイルス感染症以外に新たな感染症が発生した場合も想定

### ○感染予防対策

感染者の抑制・感染拡大の防止を目的として  
事前準備(情報収集、手洗い・うがい・3密対などの公衆衛生対策、生活必需品の備蓄)  
を行う。

### ○発生後の対応

危機管理対策本部の設置

### ○具体的な対策 経営資源ごとにチェック(人的資源、物的資源、情報、資金など)

特に、生産者、出荷者、購買者といった「お客様」の感染状況や弊社に対するニーズの把握を重視する。

弊社は、食品安全に関する国際認証規格であるFssc22000を取得し毎年審査を経て更新しています。この規格に基づく安全・衛生対策は、継続は感染症対策にも十分対応できますので、仮に、緊急事態宣言の解除や感染の終結があった場合でも、BCPを解除しても、取組みは続けてまいります。

## まとめ

但し、今まで経験したことのない災害や危機事案はいつ起こるかわかりません  
何が起きようとも「冷静に」対処することが肝要です。また、計画は常に点検、見直しが必要  
です。

生産者、出荷者、購買者の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。